

# まつもと農園 （松本 稔氏）

## 数値管理と経営の見える化で効率的な農業経営

### 経営概要

所在地 綾歌郡綾川町

経営主 松本 稔

主要事業 施設・露地野菜栽培

主要作目

キュウリ	1.6ha
イチゴ	0.18ha
ブロッコリー	4ha
青ネギ	1ha
キャベツ	2ha
水稲	2.6ha
シュンギク	0.65ha
タマネギ	0.3ha

労働力

経営者	2名
常時雇用	4名
実習生	6名

URL <https://www.matsumotonouen.com/>

### 取組内容・効果

#### 【取組内容・効果】

- ・キュウリの施設栽培およびイチゴの観光農園を中心とした経営を行っていたが、令和元年から露地野菜を導入。農地集積と機械整備を進め、計画的に規模拡大を進めてきた。
- ・JA香川県の農業経営コンサルティングを活用し、収支や損益、収量、労働時間を数値化するとともに財務分析を実施。経営の「見える化」に取り組んだ。品目ごとに経営計画を策定し、売上・経費の目標を設定。従業員一丸となって収量・品質の向上に努めた結果、農業所得と労働生産性が向上し、増収・増益につながった。
- ・従業員の要望を踏まえ、働きやすい職場環境を目指し、更衣室や休憩室等の整備を行っている。

#### 【取組のポイント】

- ・部門ごとに責任者を配置。責任者は、従業員の人数や能力、収量などのデータをもとに品目別の計画を作成。実習生を含む全従業員に対して、ミーティングで取組計画を説明し、意識の統一を図っている。
- ・見える化した数値を基に作付面積の調整を行い、労働時間の平準化や時間外労働の削減にも成功している。

### 取組への感想・今後の展開

- ・数字を意識した取組みができるようになった。
- ・周年雇用のため、安定した収入が見込める品目構成を検討中。とくにキュウリの8月～9月の安定出荷を目標に、次年度の計画を立てている。
- ・繁忙期でも休みが取れる効率的な体制を目指し、オペレーターの育成や、作業効率を高める機械の導入など、一層の働き方改革を推進していく。

JAのコンサルティングにより  
収支や労働時間を分析し  
計画に活用



全ての従業員に  
年間取組計画を共有

ブロッコリー、キュウリを  
重点品目として位置づけ



オペレーター育成や作業効率を  
高める機械の導入を進める



従業員一丸となった取組みで経営改善を達成